

ふれあい 夢通信

保護者向け
山口県教育広報誌
2006年24号

CONTENTS

- 特集:一人ひとりの夢の実現に向けて
- 特集:確かな学力向上に向けて
- 子どもたちの健やかな成長のために
- 子どもの元気創造
- 山口県特別支援教育ビジョンの策定
- ふれあい交差点
- 今、がんばってます!~卒業生発~
- 国民文化祭やまぐち「子ども夢プロジェクト」2次募集のお知らせ
- 教育相談お知らせ
- 教育情報ステーションお知らせ
- ふれあい掲示板

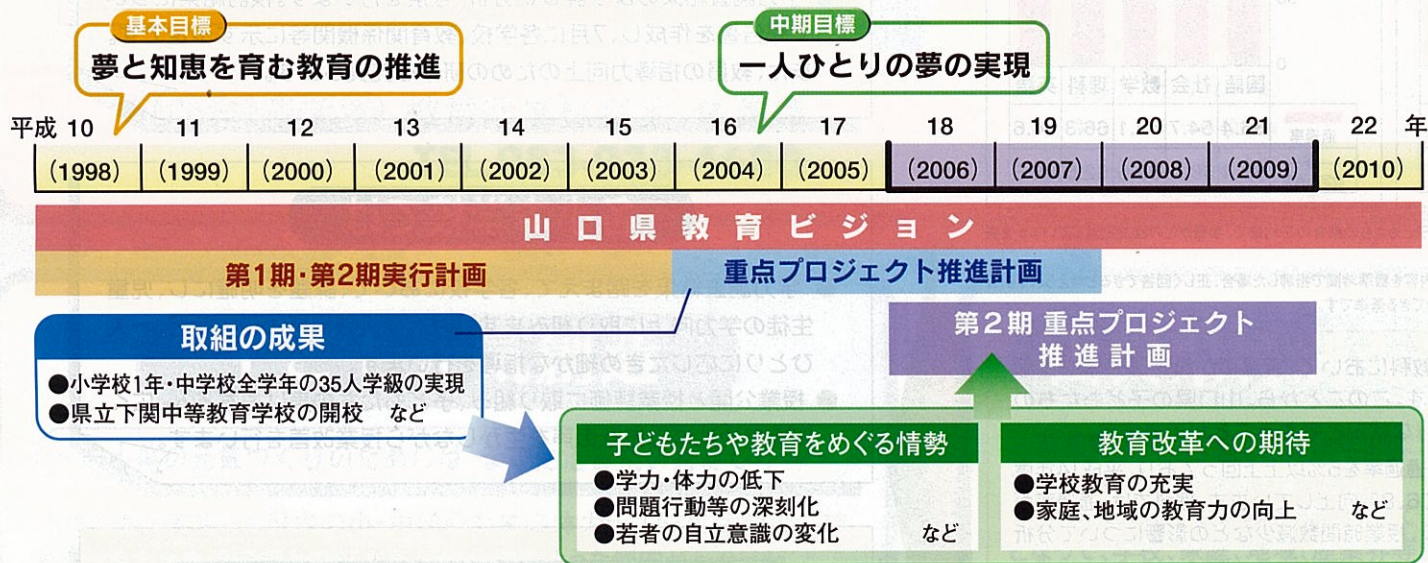


一人ひとりの夢の実現に向けて

山口県教育ビジョン 第2期 重点プロジェクト推進計画を策定しました。

県教育委員会では、平成10年(1998年)3月に「山口県教育ビジョン」をつくり、平成16年(2004年)4月からは、「教育ビジョン」の第3期実行計画となる「山口県教育ビジョン重点プロジェクト推進計画」に基づいて、教育改革を進めてきました。

しかしながら、近年の子どもたちや教育をめぐる情勢は一層厳しさを増しており、学校教育の充実や家庭、地域社会における教育力の向上が強く求められています。そこで、これらの教育課題に的確に対応するため、今年3月に、教育ビジョンの仕上げを図っていく集中的な教育改革プランとして「山口県教育ビジョン第2期重点プロジェクト推進計画」をつくりました。



本県教育改革の視点

- ① 県民総参加による教育力の向上
- ② 知・徳・体のバランスのとれた質の高い教育の実現
- ③ 一人ひとりの個性を大切にしたい心ふれあう教育の推進
- ④ 教育現場の活力と質を高める教育の推進

施策推進の基本姿勢

- ① マネジメントサイクル
- ② 意識改革とチャレンジ
- ③ 現場主義
- ④ 組織力の強化と連携

計画の基本的な考え方

- 中期目標「一人ひとりの夢の実現」を引き続き掲げ、子どもたち一人ひとりの個性を生かし可能性を伸ばしていく教育を一層進めます。
- 本県における教育改革の推進にあたっての4つの視点を定めました。
- 本県の教育改革の方向性をより具体的に示す新たな8つの重点プロジェクトを定めました。
- 具体的な数値目標(54項目)を定め、計画の着実な推進を図ります。

※具体的な数値目標は一部を掲載しています。



1 心ふれあう教育推進プロジェクト

- 少人数教育や校種間の連携、一貫教育の推進
- 生徒指導・教育相談体制の充実
- 不登校対策や特別支援教育の推進
- 幼児教育の充実
- スクールカウンセラー等を活用した教育相談を行う学校の割合
小学校11.0%、中学校49.1%、高等学校23.9%→100%

5 健やかな心と体育成プロジェクト

- 道徳教育、人権教育の充実
- 豊かな人間関係づくりの推進
- 自然体験や社会体験活動の充実
- 「食育」「遊び・スポーツ」「読書」を一体的に取り組む「子どもの元気創造」の推進
- 毎日朝食をとる児童の割合 87.0%→概ね100%

2 信頼される学校づくり推進プロジェクト

- 学校評価システムの定着と充実
- 授業改善の推進
- 教員の資質向上と人事の活性化
- 安心・安全な学校づくりや開かれた学校づくりの推進
- スクールガードを組織している小学校区の割合 83.6%→概ね100%

6 家庭・地域の教育支援プロジェクト

- 家庭教育の充実
- 地域教育力活性化の推進
- 生涯学習の総合的な振興
- 「おやじの会」活動団体数 66団体→170団体

3 個性を伸ばす教育推進プロジェクト

- キャリア教育や高校生の県内就職対策の充実
- 県立高校将来構想の推進
- 私学の振興
- 高校生の県内就職率 81.6%→85%

7 新たな時代に対応した教育推進プロジェクト

- 人権教育や国際理解教育の充実
- 環境教育の充実や情報活用能力の育成
- 新たなふるさと学習の推進
- コンピュータで指導できる教員の割合 73.6%→100%

4 確かな学力向上プロジェクト

- 少人数教育や校種間の連携、一貫教育の推進
- 確かな学力の育成
- 授業改善の推進
- 学力向上プランを作成している小・中学校の割合 0%→100%

8 文化・スポーツの振興プロジェクト

- 「国民文化祭やまぐち」開催など文化にふれあい文化に親しむ環境づくりの推進
- 山口国体の開催準備などスポーツの総合的な振興
- 博物館・美術館の入館者数 726,240人→960,000人

● 詳しくは教育委員会ホームページをご覧ください。 URL/ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/kyoikus/2juupro.htm>

問い合わせ先 教育庁教育政策課 TEL/083-933-4531 FAX/083-933-4539 Eメール:a501001@pref.yamaguchi.lg.jp

確かな学力向上にむけて

～山口県の子どものための「学力調査の結果」についてお知らせします～

県教育委員会では、昨年秋に学力調査を実施し、この度、結果の概要を取りまとめました。



調査概要

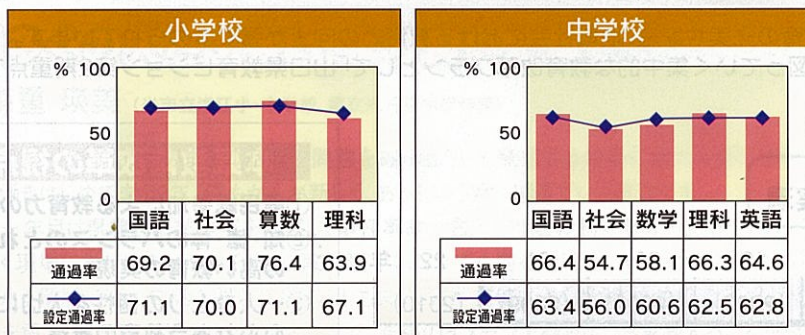
- ◆ 期 日 平成17年11月22日 火
- ◆ 対 象 県内すべての公立小学校5年生 13,534人
(県立盲・聾・養護学校小学部の一部を含む)
県内すべての公立中学校2年生 12,852人
(県立中等教育学校及び、県立盲・聾・養護学校中学部の一部を含む)
- ◆ 教 科 小学校5年生 国語、社会、算数、理科
中学校2年生 国語、社会、数学、理科、英語



なぜ、全県的な学力調査を実施するのか？

子どもたちが確かな学力を身に付けるための指導を充実していくために、学習の到達度や理解度を把握することが必要になります。このため県教育委員会では全県的な学力調査を実施し、客観的なデータを得ることで、今後の各学校における学力向上対策や、指導方法の工夫・改善を支援していきます。

調査結果



※「通過率」とは、各問題において、正しい回答をした子どもたちの割合の平均値で、学習がどの程度定着しているかを表しています。
「設定通過率」とは、学習指導要領に示される学習内容を標準時間で指導した場合、正しく回答できると考えられる割合を示したもので、学習がおおむね定着していると判断できる基準です。

- ◆ 小学校、中学校とも、すべての教科において、通過率が設定通過率を上回るか同程度の範囲内(±5%)です。このことから、山口県の子どもの学力は、全体的に「おおむね良好」な状況と考えることができます。
- 小学校では、算数の通過率が設定通過率を5%以上上回っており、平成14年度に行った前回の学力調査と比べて6.8%向上しています。理科では、通過率が設定通過率を3.2%下回っており、授業時間数減少などの影響について分析中です。
- 中学校では、理科の通過率が大幅に向上しています(平成14年度に行った学力調査では、-4.3%でしたので8.1%向上)。数学は、学校現場では、少人数指導や様々な指導方法の工夫・改善に取り組んでいますが、まだ成果が確認されるまでには至っていません。
- 個々の問題について設定通過率と通過率の関係を検証すると、「基礎・基本」標準の問題については、学習内容が定着していると考えられますが、「応用」の問題については課題があることがわかりました。

概要は、ホームページ(<http://www.ysn21.jp/e-project/>)にも6月頃掲載する予定です。



県立高等学校でも、学力向上に向けた様々な取組を行っています。

スーパーサイエンスハイスクール

文部科学省では、平成14年度から、科学技術、理科・数学教育を重点的に行う高等学校を「スーパーサイエンスハイスクール」として指定し、理数系教育に関する教育課程の改善に資する研究開発を行っています。

県立山口高等学校では、平成16年度に指定を受け、「大学や研究機関との効果的な連携を通して、体験に基づいた科学的・数学的な思考力を育成するための教育プログラムの研究開発」をテーマとして、研究に取り組んでいます。これまで培ってきた高大連携をさらに幅広く発展させ、生徒の科学的・数学的な思考力の伸長を図っていくとともに、地域内の小・中学校及び近隣の高等学校にも成果を普及させていきます。



伝導性高分子化合物の合成実験

進学チャレンジ拠点校

県教育委員会では、平成16年度から、「進学チャレンジ拠点校」として指定した高等学校12校における意欲ある取組を支援するとともに、その成果をすべての県立高等学校等に普及させることにより、生徒一人ひとりの将来の夢や目標に応じた進路希望の実現をめざしています。

各拠点校では、大学教員による学部別大学セミナーや、各分野の専門家及び卒業生による分野別キャリアセミナー、さらには、近隣校との合同学習合宿など、各学校の実情に応じた取組や近隣校を交えた取組が進められています。

それぞれの取組と成果については、県のWebページに掲載するとともに、各種研修会で発表するなど、県内への普及を図っています。



県立萩高等学校による近隣校との合同学習合宿

学力向上のために

教育委員会では

- 学力調査結果のより詳しい分析・考察を行います。検討結果について報告書を作成し、7月に各学校、教育関係機関等に示す予定です。また、教員の指導力向上のための研修を充実します。

各小中学校では

- 学力調査結果を踏まえて、各学校において、課題を明確にし、児童生徒の学力向上に取り組めます。また、少人数指導の工夫など、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行います。
- 授業公開と授業評価に取り組み、子どもたちの声はもちろん、広く保護者や地域の方々の声を生かしながら授業改善を行います。

家庭でも取り組んでみましょう

- 毎日決まった時間に机に向かうなど、子どもに合った学習習慣や学習方法を身に付けることが大切です。
- 早寝・早起きをし、朝食をしっかり摂るなど、規則正しい生活習慣を身に付けることが大切です。



県教育委員会では、家庭とも協力して学力向上に取り組むために、公立の小・中学校に在籍する子どものすべての家庭に「家庭学習リーフレット」を配布します。

問い合わせ先

教育庁義務教育課 TEL.083-933-4600
教育庁高校教育課 TEL.083-933-4627

子どもたちの健やかな成長のために

県教育委員会では、平成17年8月に「生徒指導対策協議会」を設置し、いじめ問題を中心に生徒指導対策の充実について幅広く検討いただいていたところであり、その御意見を踏まえ、今後「心の教育の充実」、「家庭の教育力の向上」、「情報モラル教育の推進」などに積極的に取り組んでいきます。

学校では、家庭・地域社会と一体となって、次のようなことに取り組んでいきます。

- 互いの違いを理解し、思いやりの心を育みます
- 豊かな体験活動を生かした道徳教育を充実します
- 集団生活を通して望ましい人間関係づくりに努めます
- 校長のリーダーシップのもと学校の組織力を高めます
- 情報発信に努めるとともに地域の活動にも協力します

また、子どもたちの健やかな成長のために、学校と家庭、地域社会がともに手を携え、次のことなどに取り組んでいきましょう。

- いじめは絶対に許されないことを教えましょう
- 互いにあいさつを交わしましょう
- どの子にもよいことは誉め、悪いことは注意しましょう



明るく温かい 家庭をつくるために

- 早寝早起き・朝ごはんを習慣化しましょう
- 生命や思いやりの大切さについて語り合しましょう
- 家庭内のルールを決め、役割を分担しましょう
- なごやかな雰囲気と一緒に食事をとりましょう
- 子どもの話を聞き、親の思いを語りましょう



ふれあいのある 地域社会をつくるために

- 行事や活動に参加して交流を深めましょう
- 子どもと大人がふれあえる活動をしましょう
- 子どもたちの活動を地域で支えましょう
- 保育所・幼稚園や学校の活動に参画しましょう
- 協力して有害環境をなくしましょう

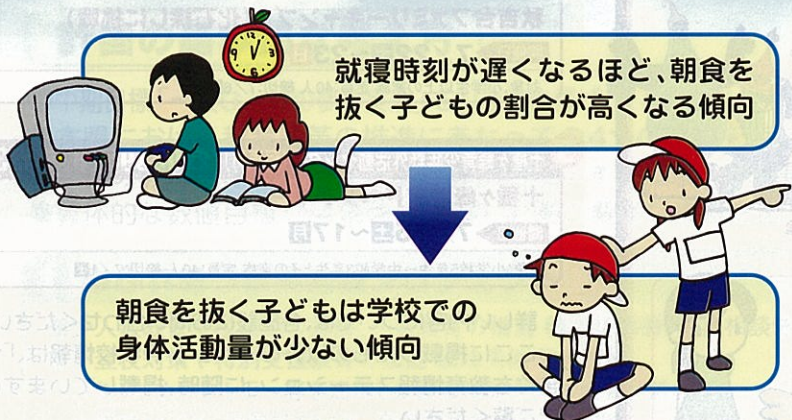


問い合わせ先 教育庁学校安全・体育課
TEL.083-933-4680

子ども元気創造

～心と体の元気づくりのためには、まず生活習慣の見直しから～

昨年度に実施した県内の小・中学校対象の体力テスト・生活調査の結果から体力と生活習慣との関連をみると、次のような傾向がわかりました。



こうしてみると、今の子どもたちの体力低下の問題には、

- ①遊び・スポーツ(身体活動)の減少、②食習慣の乱れ、③遅い就寝時刻といった、基本的な生活習慣の乱れが関係しているようです。

子どもたちの生活習慣について、もう一度、見直してみませんか。

朝食をしっかり食べることは、1日を気持ちよくスタートできるとともに、勉強や運動に子どもたちの力を思いっきり発揮することにつながります。毎日、朝食を食べて登校できるようにしたいですね。

手軽に朝食がとれるコツ

- そのまま食べられるものを常備しておく
例▶ 納豆、卵、豆腐、ヨーグルト、果物、夕飯のおかずの残り
- 一品にいろいろな食品を組み合わせる
例▶ きのことわかめ十豆腐十卵→具だくさんスープ



問い合わせ先 教育庁学校安全・体育課
TEL.083-933-4685

山口県特別支援教育ビジョン

県教育委員会では、平成18年3月に、特別支援教育の施策推進の基本方針となるビジョンを策定しました。

今後、このビジョンの実現に向けて、実行計画を作成し、県と市町が一体となって、学校、家庭、地域、産業界等が連携した取組を推進し、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育を積極的に推進します。

基本目標

「一人ひとりの生きる力を高め、自立・社会参加を支える、心ふれあう教育の実現」

構想の期間

平成18年度～平成27年度(10年間)



ビジョンの主な内容 本県の実情に即した柔軟なシステムづくり

盲・聾・養護学校における推進

～障害種にとらわれない学校制度・総合的な支援学校(仮称)～

新たに制度検討委員会を設置し、障害種にとらわれない学校制度・総合的な支援学校(仮称)、各障害に対応した相談部門の設置等の検討を進めるとともに、体制整備に向けた実践研究に取り組み、システムづくりを進めます。

小・中学校等における推進

～通級等による柔軟な支援教室(仮称)～

児童生徒一人ひとりの障害の実情や発達段階に応じて、特殊学級(特別支援学級(仮称))等の固定式の機能や通級による支援、補助教員の活用等を柔軟に組み合わせ、弾力的に運用するなど、通級等による柔軟な支援教室(仮称)の実践研究に取り組み、その成果を普及します。

※「山口県特別支援教育ビジョン」は、ホームページ(山口県教育庁特別支援教育推進室)でご覧いただくことができます。

問い合わせ先 教育庁特別支援教育推進室
TEL.083-933-4615

ふれあい交差点

コミュニティ・スクールで 学校・家庭・地域社会の連携を!!



地域の方に手話を習います

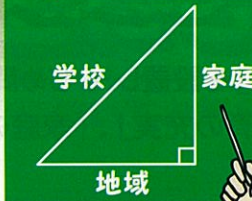
萩市立田万川中学校

「行きたい学校・帰りたい家庭・戻りたい地域」をキャッチフレーズに、学校・家庭・地域が本来あるべき姿を考え、それぞれが持つ機能を最大限に発揮しながら地域の宝である子どもの育成にあたるというのが、コミュニティ・スクールの考え方です。地域の最大の資源は子どもたちです。

限りある子どもの中に無限の可能性があり、学校だけでは限界があります。学校・家庭・地域のそれぞれの場において子ども自身に自分のよさに気づかせたいと思います。そのためにはコミュニケーションが大事です。コミュニケーションの質と量が、子どもの夢の実現に大きく影響すると考えています。本校のコミュニティ・スクール推進委員会ではそういうコミュニケーションが生まれる場を設定していきたいと思っています。

学校・家庭・地域の三平方の定理

$$(\text{学校})^2 = (\text{家庭})^2 + (\text{地域})^2$$



学校の事情は、家庭と地域の事情から成り立っています。責任を問いつつ関係から、責任を負い合う関係をつくっていきましょう!



今、がんばってます!

～卒業生発～



「多くの人と出会い、より良い記事を!!」

森重 瑛美 (光市立浅江小・中学校、県立光高等学校卒業)

地域に密着し、そのまちの話題や問題を掘り起こして発信する仕事に魅力を感じ、地元新聞社に入社しました。記者として働きはじめてまだ2年、何もかもが新しく、あつという間に過ぎていく毎日です。

一年目は県警と郡部地域を担当し、事件事故や裁判、行政の動きや町の話について取材しました。新人ははじめとにかく現場に放り出されるのですが、取材現場に行っても何を聞けばいいのかわからず、右往左往していました。会社に帰ってから電話で改めて話を聞きなおすこともあり、先輩方にはよく怒られたものです。しかし、取材先でさまざまな人たちと交流を重ね、自分の世界を広げていくことで、原稿のイメージを持ちながら質問できるようになってきたと思います。

この2年間、報道という仕事に携わって強く感じたことは、小さな事件、事故にもたくさんの当事者がいて、報道はその人たちの人生を左右することがあるということです。最も大切なことですが、取材と原稿の締め切りを追われる中で、ついその基本を忘れがちになり、取材や記事への配慮がおろそかになることがあります。地元紙では小さな事件事故を報道することが多いため、常にそのことを意識するよう心がけています。

記者は、幅広い分野の人と触れ合い、さまざまな世界について学び、知ることのできる仕事です。文系向きの職業と思われがちですが、理系学部出身の人もたくさんいます。今は学問だけにとらわれず、音楽やスポーツ、読書など色々なことを体験して、自分の世界を広げていって下さい。私もこれからより多くのことを学び、良い記事を届けられるように頑張ります。

国民文化祭やまぐち 「子ども夢プロジェクト」募集中!

本年11月に開催する「国民文化祭やまぐち」では、特に「次代を担う子どもたちのための文化環境づくり」に取り組むこととしています。

この取組の一環として、子どもたちが提案する文化芸術活動のアイデアや夢を「国民文化祭やまぐち」で実現させる「子ども夢プロジェクト」を実施します。現在、このプロジェクトの2次募集を行っています。「国民文化祭やまぐち」を舞台に夢の実現にチャレンジしたいという皆様のご応募をお待ちしています。



- 応募資格** 平成19年3月末時点で18歳以下の方(高校3年生以下)が対象です。幼稚園・学校・学年・クラス・部活動のグループ単位で応募してください。
- 採択件数** 5件程度。採択された場合は、1件あたり100万円以内で支援をします。
- 応募期限** 平成18年5月1日(月)(消印有効)
- 応募・問い合わせ先** 第21回国民文化祭山口県実行委員会事務局
〒753-8501 山口市滝町1-1 県政資料館2階 TEL.083-933-2890 FAX.083-933-2859
ホームページ <http://www.kokubun-yamaguchi.jp/>



教育相談のお知らせ

お気軽に何でも早めに 子どものことをご相談ください!

子どもたちを取り巻く環境が変化しています。子どもたちの心の中も見えにくくなっています。子どもに関わる悩み、不安、気になることなど、何でも相談や情報をお寄せください。

相談や情報はこちらへ...

- 最寄りの学校や幼稚園
- お住まいの市町村の教育委員会
- 県教育相談室 ☎083(933)4531
- いじめ110番 ☎083(923)2264
- ふれあいテレホン ☎083(987)1240
- その他の相談窓口

※4月より県内7箇所の教育事務所が廃止されました。教育事務所に設けられていた地域教育相談室も廃止されましたので、相談は県教育相談室にお寄せください。



教育情報ステーション

県教育委員会のホームページ やまぐち教育情報ステーションをご活用ください

「やまぐち教育情報ステーション」では、県内の学校や行政機関からのホットな情報をお届けしています。お子様の通われる学校の取組や県内の様々な教育情報を知るために、ぜひ、ご活用ください。

「やまぐち教育情報ステーション」は、
七つのコーナーから情報をお届けしています。

- 「学校情報」では、県内の各学校から発信される様々な情報を掲載しています
- 「ひとこと」では、教育関係者のエッセイ「学び舎の窓から」を連載中です
- その他、行政情報、募集案内、イベントなどのコーナーがあります

URL <http://www.yasn21.jp/e-joho/>

※山口県教育委員会のトップ画面からもアクセスできます。

ふれあい夢通信編集部より

いよいよ新学期が始まりました。お子様も新しい環境や出会いに緊張と希望を胸に抱かれていますことでしょう。子どもたちの新しい学校生活が満ち足りたものになるよう編集部一同、心からお祈りします。今後とも、「ふれあい夢通信」をご愛読くださいますようお願いいたします。

「ふれあい夢通信」編集部
山口県教育庁 教育政策課教育企画班
〒753-8501 山口市滝町1-1
TEL/083-933-4531 FAX/083-933-4539
Eメール:a501001@pref.yamaguchi.lg.jp

ふれあいの掲示板

～子どもたちと一緒に参加、見学できるイベント案内～

イベントカレンダー

掲載期間▶2006年4月～2006年7月

1 山口県教育研修所(山口市) ☎083(987)1190

「天体観測入門」

開催日▶5/1日・2日(19:30～21:00)

対象:一般(中学生以下は保護者同伴) 定員:各40人 締切:開催日の一週間前まで

「天体観測入門」

開催日▶7/27日・28日(19:30～21:00)

対象:一般(中学生以下は保護者同伴) 定員:各40人 締切:開催日の一週間前まで

1 山口県立山口博物館(山口市) ☎083(922)0294

テーマ展「考古蔵出し展～未公開の縄文コレクション」

開催日▶4/25日～6/11日

休館日:毎週月曜日

植物教室(第1回)「海藻標本を作ろう」

開催日▶5/14日(13:00～15:00)

対象:小学生以上(小学生は保護者同伴) 定員:20人 締切:5/4日

1 山口県立美術館(山口市) ☎083(925)7788

ウィーン美術アカデミー名品展

開催日▶4/7日～5/21日

休館日:毎週月曜日

2 山口県立萩美術館・浦上記念館(萩市) ☎0838(24)2400

華麗なるマイセン磁器 シノワズリー、ロココからアール・ヌーヴォーまで

開催日▶4/8日～5/28日

休館日:毎週月曜日

3 油谷青年の家(長門市) ☎0837(32)1000

花マル 海の探検隊!!～シーカヤックで海に漕ぎだそう～

開催日▶7/29日～7/30日

対象:4・5歳児とその家族 定員:40人 締切:7/14日

4 秋吉台少年自然の家(美東町) ☎08396(2)0581

親子でテントへ泊まろう!

開催日▶7/8日～9日

対象:幼児(4・5歳)とその家族 定員:40人 締切:6/22日

秋吉台ファミリーキャンプ1(化石探しに挑戦)

開催日▶7/22日～23日

対象:小学生以上の家族 定員:40人 締切:7/6日

5 十種ヶ峰青少年野外活動センター(阿東町) ☎08395(8)0033

十種ヶ峰でアドベンチャー

開催日▶7/15日～17日

対象:小学校5年生～中学校3年生とその家族 定員:40人 締切:7/1日

詳しい内容については、各施設にお問い合わせください。ここに掲載したものの以外のイベントや学校情報は、「やまぐち教育情報ステーション」に随時、掲載していますのでご覧ください。



招待券プレゼント

県立美術館の「ウィーン美術アカデミー名品展」、県立萩美術館・浦上記念館の「華麗なるマイセン磁器」の招待券をそれぞれペアで10組20人の方にプレゼントします。

ご希望のイベント名、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、「ふれあい夢通信」の感想・意見を記入し、はがきでご応募ください。

送付先▶「ふれあい夢通信」編集部
「招待券プレゼント」係

締切り▶4月24日(日)必着

※なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。